
目次

【01】 OFIXでのボランティア活動について
■ OFIXボランティア制度について

■ 災害時の多言語支援について
-近畿地域国際化協会連絡協議会の取り組み-

- 多文化社会専門人材養成講座-多文化社会論基礎を受講して-
主任企画員 吉川 友香

【02】 OFIXボランティアとして活躍中の人々
■ OFIXホストファミリー 高柴健一郎

高柴ファミリーにステイしたインドからの研修生
(Bhimala Krishna Chaitanya
ビマラ・クリシュナ・チャイタンヤ)

■ OFIX語学ボランティア〈スペイン語〉 井上 三菜子

【03】 平成27年度 大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業
(安藤プログラム)

【04】 事業報告

***** OFIX共催事業 *****

■ 茨木市国際親善都市協会・OFIX共催 防災訓練
「市民と在住外国人のふれあい交流
-いっしょにそなえる-」

■ 堺市(文化観光局国際部国際課)・OFIX共催 通訳研修
「コミュニティ通訳研修-はじめての保健・
福祉(分野)通訳-」

■ 高等教育機関留学生担当者防災ワークショップ

■ オリオン寮生向け防犯指導

【05】 お知らせ
◎ OFIX共催事業：外国人のための一日無料相談会

【06】 ご存知ですか？
◎ マイナンバー記載の「個人番号カード」について

【07】 OFIX新国際交流員の紹介 -私が新国際交流員です！ -

編集後記

【01】 OFIXでのボランティア活動について

■ OFIXボランティア制度について

OFIXでは、府民のみなさんが各種のボランティア活動に参加することにより、外国人支援活動や国際理解、国際交流を促進することを目的として本制度を実施しています。
ここでは3種類あるOFIXボランティアの活動について、紹介します。

《語学ボランティア》

自治体等において外国人住民の生活全般に関する言語支援を行うコミュニティ通訳・翻訳や、国際交流イベント等で言語サポートを行うイベント通訳、通訳ガイド等があります。
特に外国人住民の定住化が進むにつれ、コミュニティ通訳・翻訳に関するニーズが高まっています。
またコミュニティ通訳には、通訳者としてだけでなく、外国人住民と行政をつなぐ橋渡しの役割が求められます。
そのためOFIXでは、活動の際の心構えや背景知識等を学ぶ研修も実施しています。

《文化ボランティア》

日本文化及び伝統芸術の紹介・指導を日本語で行います。
依頼件数は減少しつつありますが、どの活動においても、初めて日本文化等を体験した外国人の方からご好評をいただいています。

《ホストファミリーボランティア》

宿泊の有無に関わらず、大阪を訪れる外国人を家庭に受け入れ、生活習慣や日本文化を理解する機会を提供します。そのため、個人単位ではなく、家族単位で参加するボランティア活動になります。
大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業(安藤プログラム)の研修生も、毎年ホームステイを体験していますが、研修の中で最も印象深かった行事の一つだとの感想も多く、帰国後もホストファミリーとの交流を続けているようです。

※災害時通訳・翻訳ボランティアについては、近畿地域国際化協会連絡協議会の「災害時における外国人支援ネットワーク協定」に基づき、OFIX災害時通訳・翻訳ボランティア登録制度に登録したボランティアの方に活動していただいています。

その他の詳細については、OFIXホームページをご覧ください。
→<http://www.ofix.or.jp/>

■ 災害時の多言語支援について

-近畿地域国際化協会連絡協議会の取り組み-
平成27年度 近畿地域国際化協会連絡協議会会長
(公財)京都市国際交流協会)

各府県・政令市の地域国際化協会では、外国人住民が災害

時に"情報弱者"とならないよう、日本語の災害情報を外国語に翻訳したり、やさしい日本語に置き換えたり、外国人被災者からの相談に対応するなどの活動体制づくりを行っています。

しかし、阪神・淡路大震災のような大規模災害の場合、個々の協会だけで十分な支援を行うことは不可能ですので、近畿地域全体として災害時外国人支援に取り組むため、平成19年に近畿地域内の地域国際化協会間で協定を締結しました。

現在は2府3県3政令市の計8協会が加盟しており、災害時通訳・翻訳ボランティア(以下、「災害ボランティア」という)制度の運用や、災害ボランティア向けの研修や訓練などを実施し、取り組みを進めています。

災害ボランティア制度では、近畿地域のどこかで災害が起きた時、要請に応じて災害ボランティアの通訳派遣や、多言語翻訳支援等を想定しています。

幸い、平成19年以降に近畿地域では災害ボランティアの方々に活動を依頼するような大規模災害には見舞われていませんが、今後の災害に備え、より多くの方が、災害ボランティアとして、各地域での災害時外国人支援に対する取り組みにご参加いただければ、近畿地域全体の支援につながり、力強く思います。

- 多文化社会専門人材養成講座-多文化社会論基礎を受講して-
主任企画員 吉川 友香

国立大学法人 東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センターでは、急激に進む日本社会の多文化化のなかで、多文化社会における問題の解決に寄与する専門人材の養成を推進しておられます。今年度は地域における多文化化の問題を読み解くための基礎知識の獲得を目的とした標記講座を実施され、OFIX職員の私も参加しました。

講座を受講し感じたことは、多文化社会の構築の第1歩は、多文化化に潜む多岐にわたる問題を認識することです。例えば、単純に外国人(外国籍)の方の問題として捉えていた事柄でも、日本人(日本国籍)で外国にルーツを持つ方にも該当する場合があったり、母語と母国語*が異なる方も多くおられます。

(*母語→第一言語(通常使用している言語)、母国語→国籍の公用語)

OFIXが、多文化共生の問題解決の一助となる多言語支援等を行ううえで、OFIXボランティアの協力は必要不可欠です。私はOFIXボランティアコーディネーターとして、さまざまな多文化社会の問題を注視するとともに、ボランティアの方々にも、活動時に配慮すべきことが認識以上にあるということ伝えていけるように心掛けたいと思いました。

講座は内容が濃く、多くの学びがありました。一方で身の引き締まる思いの4日間でした。

【02】 OFIXボランティアとして活躍中の人々

■ OFIXホストファミリー 高柴健一郎

初めてホームステイを受け入れたのは、今から約30年近く前のことでした。それ以来、200名以上の方が我が家を通じて日本の文化や食に触れてこられました。なかには長期滞在や、2度3度と来られた方もいます。

初期のゲストはカメラひとつだったのに、最近では、デジタル一眼レフ、スマホは当たり前で、国際電話もWi-Fiでスカイプする環境になり、ホームステイ環境も様変わりしました。

今回のゲストのチャイトウ(ニックネーム)さんは建築家なので、南大阪にある安藤忠雄氏設計建築物を中心に見学しました。時間があまりなく、十分に満足してもらえたかが少し気になりましたが、私達は充実した時を過ごすことができました。

高柴ファミリーにステイしたインドからの研修生
(Bhimala Krishna Chaitanya ビマラ・クリシュナ・チャイタンヤ)

日本の文化や生活のあらゆる面を実際に体験してみたいと思っていた私は、ホームステイをととても楽しみにしていました。反面、ホストファミリーとの週末が、どのようになるのか不安でもありました。

しかし、高柴ファミリーと会った瞬間、とても自然にうち解けることができ、その不安は吹き飛びました。

お孫さんの学校や近くのお寺を訪れたり、お好み焼きを作ったりと、高柴ファミリーの日常に触れられるように配慮してくださり、日本の風習や生活様式に関する私の質問にも、辛抱強く答えてくれました。お宅には写真、書籍など、多くの思い出の品々があり、そこに住むご夫婦のように温かでした。会話は途切れることなく、とても充実した時間を過ごせました。

ホームステイの時間が終わらなければいいと願うほど、温かくフレンドリーなご夫婦と過ごすことができとても光栄です。

■ OFIX語学ボランティア〈スペイン語〉 井上 三菜子

OFIXのボランティアを始めて約5年が経ち、現在はスペインのマドリードに在住しています。

大阪府内に住んでいた頃、スペイン語で生きていくという夢に向け、色々な経験を積むため府内の病院や刑務所での通訳、語学学校の講師、翻訳などさまざまな仕事をしてきました。

叔父からOFIXの語学ボランティアのことを聞き、そのような機会があるのなら！と登録しました。ボランティア登録してからは、複数のチャンスをいただき、外国人留学生等のための総合防災訓練(OFIX主催)や、大阪880万人訓練(大阪府危機管理室依頼)、入門レベルのための日本語教室(堺市国際課主催)、ビッグ・アイアートフェスティバル(国際障害者交流センター主催)やそれに関する翻訳や翻訳チェックの機会を得ました。

すべての案件が印象に残っていますが、特に防災に関する

詳細な資料の翻訳及び翻訳チェック作業は、自然災害の多い日本に住む外国人の方に対する配慮の必要性を感じるとともに、自分が少しでも貢献できたことをとてもうれしく感じました。

居住地は大阪から遠く海外へと離れてしまいましたが、今後ともOFIX語学ボランティアとして、積極的にOFIXの多言語支援活動に協力していきたいと思っております。

【03】平成27年度 大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業

今年度23回目となる大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業は、アジア8か国から8名の研修生を迎え、9月25日から10月23日までの約1か月の研修を実施しました。

この事業は建築家・安藤忠雄氏が受賞されたデンマーク・カールスバーグ社の第1回国際建築家賞の副賞と、企業の協賛金をもとにアジアの若者に日本の建築や芸術等を学ぶ機会を提供することにより日本文化等への理解と関心を深め、母国の建築・芸術の発展に寄与することを目的としています。

昨年度から実施している大阪府研修では、大阪府住宅まちづくり部及び都市整備部の方から、大阪の都市戦略、都市計画、インフラ戦略、景観政策や耐震対策等についての講義がありました。また、府職員とのディスカッションでは、研修生から土地所有制度と景観保全への取り組みについて各国の制度や事例の発表があり、その後、活発な意見交換がなされました。

研修の軸となる、(株)大林組、(株)銭高組、(株)竹中工務店及び大和ハウス工業(株)での10日間にわたる企業研修では、最新技術の説明、工事現場視察や設計部でのデザインワークなど各社さまざまな研修内容で、熱心なご指導をいただきました。

安藤忠雄氏設計の建築物視察では、大阪府の近つ飛鳥博物館をはじめ、兵庫県淡路島の本福寺や淡路夢舞台、香川県直島の地中美術館等を巡り、研修生は資料等で学んできた建築を実体験することで、その土地と自然に調和する安藤建築への理解を深めたようです。

また、安藤忠雄氏への表敬訪問では、"与えられたものではなく、自ら行動し、資料を集め、自分の糧にすること、そして国際情勢に精通すること"の大切さについて、憧れの先生からアドバイスをいただき、気持ちを新たにしていました。

さらに、東アジア建築都市研究所所長・建築家のグンタ・ニチケ氏、同じく建築家のエスター・ツオイ氏による、ディスカッションプログラムや京都視察、また、近畿大学学生との茶室をテーマにしたワークショップや、ホストファミリーとの交流を通し、充実した研修となりました。ご協力いただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

【04】事業報告

■ 茨木市国際親善都市協会・OFIX共催 防災訓練

「市民と在住外国人のふれあい交流-いっしょにそなえる-」
を実施しました。

実施日：10月3日(土) 10時30分-12時30分

参加者：21名

このイベントは地震などの「いざというとき」の準備について
茨木市に在住する日本人と外国人の方とが一緒に考える催し
です。

茨木市総務部危機管理課からの講義ではリニューアルした
『茨木市防災ハンドブック』が紹介されました。また茨木市消防
本部のご協力により、119番通報や消火訓練を体験しました。

訓練用の水消火器の栓を早く抜いてしまい、持ち運びの際
に水が飛び出し、周りの人にかかってしまうハプニングもあり
ましたが、秋の晴天のもと、楽しくもまた学びのあるふれあい
交流となりました。

■ 堺市(文化観光局国際部国際課)・OFIX共催 通訳研修

「コミュニティ通訳研修-はじめての保健・福祉(分野)通訳-」
を実施しました。

実施日：10月14日(水) 13時30分-16時30分

参加者：14名(堺市国際ボランティア(通訳)等)

今回のコミュニティ通訳ボランティア研修は、コミュニティ通
訳の活動分野のなかでも、ボランティアの方々が特に難しいと
思われている保健・福祉分野に焦点をあて、主に活動初心者
を対象に実施しました。

講師には(公財)兵庫県国際交流協会のスペイン語相談員
村松 紀子氏をお招きし、通訳活動を行ううえでの心構え等
に関する講義のほか、ケーススタディやロールプレイを指導
していただきました。

講義の段階では、保健・福祉分野の通訳は難しいとの意見
がありましたが、さまざまな場面を想定したロールプレイを
体験し、それぞれが活動可能な場面を見つけることができた
ようでした。

■ 高等教育機関留学生担当者防災ワークショップ

実施日：9月3日(木) 14時-16時30分

場 所：マイドームおおさか 8階第6会議室

参加者：24名

府内の大学及び専門学校などの留学生担当者や行政の防
災担当者に参加いただき、高等教育機関留学生担当者防災
ワークショップを実施しました。大阪府北堺警察署の方から
「災害時における在住外国人に対する支援や対応」羽衣国際
大学の方から「災害時の留学生支援に関する現状の取り組み
と課題」について、それぞれ講演していただいた後、4班に
分かれ、「災害時の留学生支援に関する取り組み」「災害時
の留学生の安否確認方法や災害発生時のマニュアルの有無」
をテーマとして、それぞれの現状、課題、解決方法について

意見交換を行い、班ごとに発表しました。

すでに、災害時の安否確認システムを構築されていたり、まだまだ模索中であつたりと、防災対策への取り組み状況はさまざまですが、それぞれに課題を抱えておられるようです。参加者からは、「羽衣国際大学の具体的な取り組み内容を聞くことができ、勉強になった」「意見交換を通じて、他大学と課題を共有することができた」などの感想が聞かれました。

今回のワークショップで、課題解決の糸口をみつけていたできれば幸いです。

■ オリオン寮生向け防犯指導

実施日：(1) 9月18日(金) (2) 10月7日(水)

場 所：オリオン寮1階 集会室

参加者：合計27名

オリオン寮生を対象に防犯指導を実施しました。大阪府北堺警察署の方から「防犯」「交通安全」「在留カード(外国人登録証明書)の携帯」についてお話いただいた後に「女性のための防犯-あなた自身を守るために-」というDVDを視聴しました。

「防犯」については、まずは大声を出して逃げる事、相手との距離・間合いを保つこと、110番通報、常に危機意識を持つことなどをご指導いただきました。交通安全については、大阪府では自転車の事故がとても多いことや、交差点では、たとえ信号が青であっても、曲がって来る車の運転手とアイコンタクトをとることで、横断者の存在を認識させ、事故を未然に防ぐことができることなどについてお話しいただきました。また、外国人は「在留カードの携帯」が義務付けられているため、外出時には必ず携帯すること、また、紛失した時の手続きなどについて、詳しくお話しいただきました。

寮生たちは熱心に耳を傾け、質問も活発に行っていました。

指導終了後、寮生に夜間外出時の注意を喚起するとともに、防犯ブザーを配付し、携行するよう指導しました。また、近隣の大阪市立大学国際交流宿舎の寮生も参加されました。

【05】 お知らせ

◎ OFIX共催事業：外国人のための一日無料相談会

岸和田市国際親善協会では、OFIXと共催で外国人のための一日無料相談会を開催します。行政書士、一般相談員による相談会です。

日 時：12月13日(日)10時-15時

場 所：マドカホール2階(岸和田市荒木町)

相談内容：在留資格、生活全般、保険年金、教育人権など

言語対応：英語、中国語、スペイン語、ベトナム語、インドネシア語

詳しくは、 <http://www.ofix.or.jp/news.html#20151026>

【06】 ご存知ですか？

◎ マイナンバー記載の「個人番号カード」について

平成27年10月以降、日本に住民票のある外国人の方にもマイナンバーが記載された通知カードが順次送付されています。この個人番号は、来年1月から社会保障、税、災害対策などの行政手続に必要になります。

申請を行えば、1月以降、マイナンバーが記載された「個人番号カード」の交付を受けられます。カードには、個人番号をはじめ氏名、住所、生年月日、性別、顔写真が記載され、身分証明書として使用できるほか、印鑑登録書の発行など自治体等が条例で定めるサービスに利用できます。ただし「在留カード」や「特別永住者証明書」の代わりになるものではありません。

なお、カードの有効期限は申請者の在留資格などの区分により異なります。

【07】 OFIX新国際交流員の紹介 -私が新国際交流員です！-

はじめまして！10月からOFIXの国際交流員として着任したジェシー・デカートレイです。

私は、メルボルンというオーストラリアの南東にある都市で生まれ育ちました。シドニーに次いで大きい都市のメルボルンは、近代的で忙しいシドニーに比べ、歴史的な建物や文化が残っているのんびりした街です。

私が日本に興味を持ったのは中学校の日本語の授業のおかげです。ドイツ語と日本語授業の選択制で、私は全く馴染みのない日本語を選びました。

2004年に交換留学生として名古屋の高校で勉強し、日本への興味がますます深まりました。

2008年には、文部省の奨学金留学生プログラムを通じて大阪大学外国語学部で1年間日本語や日本文化を研究し、いつか大阪で国際関係の仕事をしてみたいと考えるようになりました。

2012年からJETプログラムで高知県の奈半利町という人口3千人の小さな町で2年間国際交流員として仕事をしました。高知は自然がいっぱいで、町民の方に母国について伝えることを楽しく感じました。今でも友だちの多い高知に年2回帰っています。

ようやく、大好きな大阪で国際交流員という仕事ができることとなり夢のように感じています。まだOFIXに着任したばかりで慣れないことが多いのですが、頑張っていきたいと思います。よろしく願いいたします。

編集後記

OFIX事業の多くが、ボランティアの方々に支えられている

ことを、改めて感じさせられました。この場を借りてお礼を申しあげます。今後もOFIXでは、外国人の方が暮らしやすい大阪を目指し、府域の国際化や多言語支援の促進に取り組んでいきますので、引き続きご協力をお願いします！

=====

=====
【大阪府外国人情報コーナー】(OFIX内)

外国人のための無料相談窓口です。

(在留資格、労働、医療、福祉、生活などの相談)

相談時間 午前9時-午後5時30分(月曜から金曜)

休憩(午後0時15分-午後1時)

専用電話 06-6941-2297

相談言語 英語、韓国・朝鮮語、中国語、ポルトガル語

スペイン語、タイ語、フィリピン語、ベトナム語

E-メール jouchou-c@ofix.or.jp

=====

=====
★大阪府メ-ルマガジン情報★ 『G E O(Global E-net Osaka)』

大阪で開催されるイベント・大阪の名所・大阪に関する豆知識等を紹介するメ-ルマガジンです！

⇒ <http://www.pref.osaka.jp/kokusai/geo/index.html>

★その他の募集・お知らせ★

※国際理解学習の授業(小中高)に国際交流員や留学生等を派遣します。

⇒ <http://www.ofix.or.jp/training/education/index.html>

※OFIXボランティアの登録制度のご紹介

⇒ <http://www.ofix.or.jp/accept/volunteer/system.html>

※OFIX賛助会員の募集及びご寄付のお願い。

⇒ <http://www.ofix.or.jp/ofix/support/index.html>

=====

=====
≫≫ OFIXニュースについてのご意見、ご感想はこちら

⇒ info@ofix.or.jp

≫≫ 配信中止、配信先変更はこちら

⇒ http://www.ofix.or.jp/info/mail/register_j.html

≫≫ 「OFIXニュース」印刷版はこちら ※写真入りで内容も詳細に。

⇒ http://www.ofix.or.jp/info/mail/backnumber/pdf/mail_japanese_no76.pdf

≫≫ バックナンバー

⇒ <http://www.ofix.or.jp/info/mail/backnumber/index.html>

=====

=====
☆☆

発行：(公財)大阪府国際交流財団(OFIX)

〒540-0029 大阪府中央区本町橋2-5 マイド-ムおおさか5階

TEL 06(6966)2400 FAX 06(6966)2401

☆☆